

平成 21 年度 日本リハビリテーション医学会 通常総会・評議員会 議事録

通常総会 議事録

日 時：平成 21 年 6 月 4 日(木)

9 時 30 分～11 時 00 分

場 所：グランシップ（静岡）1 階 大地

静岡市駿河区池田 79-4

出席者：会場出席者 150 名

委任状提出者 5,037 名

議長の選任

定款第 28 条に基づき、出席正会員のうちから佐伯覚正会員が議長に選任された。また、副議長には花山耕三正会員が選任された。

定足数の確認

議長は、出席正会員及び委任状提出者を確認し、定足数（正会員現在数の過半数 4,860 名以上）に達していることを確認した後、開会を宣した。

議事録署名人の選任について

議長の指名により議事録署名人に、猪飼哲夫正会員及び芳賀信彦正会員が選任された。

議 題

報告事項

I. 理事長報告

里宇理事長から、平成 20 年度から開始した 7 つのアクションプランほかの活動について、総括して報告が行われた。

II. 平成 20 年度各種委員会報告

里宇理事長から、平成 20 年度の各種委員会の活動状況について、報告が行われた。

III 編集委員会報告

担当理事：出江紳一

委員長：長岡正範

委員：青柳陽一郎，加賀谷斉，河村顕治，栗原まな，長屋政博，橋本圭司，原 行弘，宮井一郎，森田定雄
年度内交替委員：安保雅博，生駒一憲，小林一成

1. 委員会の開催

本年度年 6 回の委員会を開催した。（うち 1 回は論

文賞選考委員会を兼ねる）

2. 活動内容

1) 学会誌刊行の状況

平成 20 年 1 月から 12 月の間に The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第 45 巻 1 号から 12 号の計 12 冊が発行された。また、第 45 回日本リハビリテーション医学会学術集会抄録集を学術集会事務局と共同で、学会誌特別号として発行した。

2) 論文投稿・審査・掲載の状況

(1) 平成 20 年 1 月から 12 月の間の依頼原稿を除く投稿原稿は 29 編で、このうち 15 編を採用、18 編を修正後再審査、12 編を不採用とし、4 編の取り下げがあった。

(2) 第 45 巻の掲載論文は、原著 10 編、短報 6 編、症例報告 4 編、総説 2 編の計 22 編であった。

(3) 平成 21 年 1 月より 2 月 26 日現在で、13 編の論文が投稿された。

3) 投稿の呼びかけについて

会員への投稿の呼びかけについて、昨年度に引き続き第 45 回学術集会事務局と連絡を取り、発表演題の中から各座長に推薦をいただいた。

4) 科学技術振興機構（J-STAGE）の電子化対象誌に選定された。

（1 巻から 41 巻まで全巻全号のアーカイブ化）

5) J-STAGE の電子査読システムの本運用画面が完成した。

6) 執筆規定のキーワード例の改定を行った。

7) 論文賞選考内規の改定を行った。

8) 論文賞選考

論文賞選考内規に基づき、平成 21 年 2 月 20 日に論文賞選考委員会を開催し、最優秀論文賞、優秀論文賞、奨励論文賞の各賞を選定し、役員会に報告した。

3. 委員長の交替

平成 20 年 6 月 30 日付けで生駒一憲委員長が退任し、7 月 1 日より長岡正範委員が委員長に就任した。

❷ 評価・用語委員会報告

担当理事：才藤栄一

委員長：根本明宜

委員：浅見豊子，正門由久，石合純夫，目谷浩通，太田喜久夫

年度内交替委員：美津島隆

1. 委員会の開催

本年度は委員会5回開催した。そのうち1回は来年度のオンライン辞典に向けての研修会を併せて行った。その他，電子メールなどによる意見・情報交換等を行った。

2. 活動内容

1) 次期リハビリテーション医学用語集としてのオンライン事典の準備

リハビリテーション医学用語集第7版で用語が拡大され，編集作業が大変になったこと，用語集の有効利用という観点よりオンライン事典として第8版を用意することとし，準備作業を行った。システム委員会との調整，運用の検討，状況調査，研修会，システム制作担当との打ち合わせなどを行った。

2) リハビリテーション医学用語集第7版出版の管理と活用

昨年度出版したリハビリテーション医学用語集第7版の改訂，ホームページで公開している検索システムの修正を行った。

用語集第7版を基にMS-IME，ATOKのPC入力用のリハ用語辞書を作成し，今年度開設された会員専用ページでマニュアルと共に会員に提供した。

3) リハビリテーション医学用語の標準病名への登録依頼

レセプトオンライン請求で用いられ，電子カルテなどで採用されることの多いMEDIS-DCの標準病名にリハ用語集から未掲載の115傷病名の掲載依頼を行った。

4) 日本整形外科学会用語集へのリハビリテーション医学用語の掲載要望

日本整形外科学会用語集の改訂作業が行われており，関連学会として掲載用語の希望調査があった。リハ用語集と整形外科学用語集第6版との比較を行い，整形外科学用語集に未掲載の語について掲載候補として要望を提出した。

5) 評価法データベース

リハ医学・医療における評価法の動向を知るため，

関連和・洋総合誌（7雑誌）の投稿論文で用いられた各種評価法を抽出しデータベース化し報告していたが，報告は3年毎とすることとしており，今年度はアップデート作業を行った。平成20年1月～12月に刊行された7雑誌を対象に同様の調査を実施した。今後の継続のために，評価法の採択基準について再確認を行った。

6) 日本医学会用語の普及と日本医学会医学用語集Web版の活用

学会誌の投稿規定に日本医学会医学用語を用いることを推奨され，用語集へのアクセスの保証を問い合わせたところ，リハ医学会として用語集Web版を共用することを試行として許可いただいた。会員用HPからの共用を可能とした。

7) その他

- (1) 日本医学会分科会用語委員会が平成20年11月12日に開催され出席した。
- (2) 診療ガイドラインの策定に際し，リハビリテーション医学用語を推奨することを要望した。
- (3) リハニュース，学会HPで委員会活動について広報を行った。

❸ 教育委員会報告

担当理事：椿原彰夫，上月正博

委員長：岡島康友

委員：池田 聡，笠井史人，高橋博達，寺岡史人，豊倉 穰，芳賀信彦，羽田康司，水落和也

年度内交替委員：出江紳一，大田哲生

1. 委員会の開催

本年度は5回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 第3回一般医家に役立つリハビリテーション研修会として以下の3研修会を企画，主催した。終了試験を行い，その成績を出席状況とともに理事会に報告した。

(1) 「脳血管障害等」 9月27～28日

於 全社協・灘尾ホール 受講者134名

(2) 「運動器」 12月13～14日

於 全社協・灘尾ホール 受講者118名

(3) 「呼吸器」 2月21～22日

於 全社協・灘尾ホール 受講者91名

2) 実習研修会を共催し，新規企画について審議した。

- (1) 第12回 義手・義足適合判定医師研修アドバン

ストコース 9月7～8日

於 吉備高原医療リハビリテーションセンター受講者 10名

(2) 第9回 脊損尿路管理研修会 9月20～21日

於 兵庫県立リハビリテーションセンター 中央病院受講者 21名

(3) 第6回 小児リハビリテーション実習研修会

9月25～27日

於 宮城県拓桃医療療育センター受講者 37名

(4) 第11回 臨床筋電図・電気診断学入門講習会

10月4～5日

於 慶應義塾大学病院受講者 51名

(5) 第3回 福祉・地域リハビリテーション実習研修会
2月13～15日

於 横浜市総合リハビリテーションセンター受講者 13名

(6) 第2回 動作解析・運動学実習研修会

3月26～28日

於 藤田保健衛生大学医療科学部受講者 15名

3) 医学生リハビリテーションセミナーについて

(1) 76施設より開催の申し出があり、春期は11名、ゴールデンウィークは3名、夏期は24名の参加があった。

(2) 情報の提供は、学会ホームページ・リハニュース・雑誌への広告などにより行った。

(3) 参加学生のあった施設にセミナーに関するアンケートを実施した。

(4) 参加学生の感想文をリハニュースおよび学会ホームページに掲載した。

(5) 平成21年開催に向けて全研修施設に開催の協力を募り、75施設から協力の返事を得た。春期は45施設、ゴールデンウィークは19施設、夏期は73施設での開催を予定している。開催に向けては学会ホームページ・リハニュース・雑誌による広報を行った。

4) 専門医・認定臨床医生涯教育研修会について

(1) 各地方会から開催申請のあった地方会、生涯教育研修会の内容確認を行った。また、開催結果を各地方会に報告した。

(2) 「日本リハビリテーション医学会地方会組織における生涯教育研修会実施要領」における「5. 講師資格」について、改定案を作成し会則検討委員会に提出した。

(3) 細則2)-e号に該当する関連学会、研究会の申請7件の審査を行った。

(4) 細則2)-f号に該当する研修会、研究会等の41件の審査を行った。

5) リハビリテーション科の卒後初期臨床研修について

(1) 認定研修施設（実施時：424施設）に対して実施した、卒後初期研修に関するアンケート調査を集計した。

(2) その結果を第45回リハ医学会学術集会シンポジウムで報告し、リハ医学に掲載した。

(3) ホームページ改定にあわせ、学生、研修医に配慮したコンテンツについて検討した。

3. 委員長の交替

平成20年7月10日付けで出江紳一委員長が退任し、7月11日より岡島康友委員が委員長に就任した。

4 認定委員会報告

担当理事：蜂須賀研二、安保雅博

委員長：菊地尚久

委員：石田健司、佐伯 覚、菅 俊光、竹中 晋、中島英樹、船越政範、山口 淳

1. 委員会の開催

本年度は年7回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 専門医の認定及び資格更新について

(1) 専門医試験を実施し、平成20年度リハビリテーション科専門医59名を認定した。

(2) 認定臨床医の専門医移行書類を審査し、70名を認定した。

(3) 第10回および第11回専門医移行試験を実施し、80名を認定した。

(4) 現在の専門医数は1,650名である。

2) 認定臨床医の位置付け、認定及び資格更新について

(1) 従来の制度と「指定の教育研修会、教育講演を受講と指導責任者の推薦書で資格を得るもの」による新制度の2通りの受験資格での認定臨床医試験を実施し、68名を合格とした。

(2) 認定臨床医の資格更新審査を行い、45名を更新、1名を資格保留、9名を辞退による資格喪失とした。

(3) 現在の認定臨床医数は4,127（資格保留者を除く）である。

3) 指導責任者の認定及び資格更新について

(1) 指導責任者を審査し、41名を認定した。

- (2) 現在の指導責任者数は 812 名である。
- 4) 研修施設の認定及び資格更新について
- (1) 平成 20 年度の審査により、34 施設を研修施設として認定した。
- (2) 年次調査を実施し、430 施設を研修施設として適格であると認定した。
- (3) 現在稼働施設は 467 施設である。
- (4) 研修施設の Web システム構築に対して検討した。
- 5) その他
- (1) 専門医・認定臨床医の更新一括化に関して専門医の更新時期に合わせて認定臨床医の更新を行うように改訂した。
- (2) リハビリテーション医育成アクションプラン策定 WG に対して当委員会に関連する意見を提案した。

5 試験問題委員会報告

担当理事：安保雅博，蜂須賀研二

委員長：和田 太

委員：飯塚正之，小口和代，川手信行，小林宏高，関 和則，関 勝，中馬孝容，藤原俊之，八幡徹太郎，間嶋 満（特別委員），藤谷順子（特別委員）

1. 委員会の開催

本年度は 7 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験の問題 150 題を作成した。
- 2) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験（平成 21 年 3 月 5 日に実施）に臨場した。
- 3) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会専門医移行試験の問題各 60 題を作成した。
- 4) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会専門医移行試験（平成 20 年 9 月 7 日，平成 21 年 3 月 22 日）に臨場した。
- 5) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験の問題 100 題を作成した。
- 6) 平成 20 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験（平成 21 年 3 月 5 日に実施）に臨場した。
- 7) プール問題の修正，整理，コード付記を行った。

6 社会保険等委員会報告

担当理事：吉永勝訓，水間正澄

委員長：川手信行

委員：尾花正義，古閑博明，近藤克則，近藤国嗣，

菅原英和，染屋政幸，高橋博達，長谷公隆，原 寛美，藤谷順子，古市照人，森 英二，田中宏太佳（特別委員）

年度内交替委員：江端広樹，田中宏太佳

1. 委員会の開催

本年度は平成 20 年 4 月 11 日，5 月 14 日，7 月 4 日，9 月 5 日，11 月 14 日，平成 21 年 1 月 16 日，3 月 6 日の 7 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 医療保険に関する活動

(1) 内保連関連

例会，運営会議，呼吸器関連委員会，神経関連委員会，リハ関連委員会に参加し，意見を述べた。また，特に，リハ関連委員会で平成 22 年度診療報酬改定に向けたリハ料に関する意見の集約を行い，約 30 項目の提案書を他学会と共同提出すべく，現在関連学会・団体と調整中である。

(2) 外保連関連

総会，実務委員会，処置委員会，検査委員会に参加し，意見を述べた。また，外保連を通じて平成 22 年度診療報酬改定に向け，当学会として 5 項目の提案書を提出すべく調整中である。

(3) 平成 20 年度リハ医学に関する診療報酬改定について学会誌 5 月号に報告した。

(4) 平成 20 年度診療報酬再改定についてのアンケート調査，分析を行い，ホームページおよび学会誌 2009 年 1 月号に結果を報告した。

(5) 平成 22 年度診療報酬改定にむけて

①内保連各委員会，外保連を通じて，提案書を提出すべく，関連団体と意見交換，調整作業をおこなった。（継続中）

②厚生労働省訪問を行い保険局医療課長，医療課長補佐と面談を行い，平成 21 年度診療報酬改定の当学会としての基本方針と他関連学会，団体との連携，協議について説明した。

③リハ医学会社会保険モニター担当専門医を対象に，「平成 20 年度リハ関連診療報酬改定」についての意見を求め，集約した。

④社会保険に関する関連団体との折衝

リハ医療関連 5 団体協議会において，リハ関連診療報酬について議論し，意見を集約した。また「日本整形外科学会・日本リハ医学会社会保険合同会議」にて，意見交換を行った。

2) 介護保険に関する活動

- (1) 厚生労働省老健局老人保険課課長補佐との懇談会を開催し、意見交換を行った。
- (2) リハ医学会社会保険モニター担当専門医を対象に「介護報酬改定について」、「訪問リハステーションについて」の意見を求め、集約した。
- (3) リハ医療関連5団体協議会において、「平成21年度介護保険改定」についての意見交換を行った。
- (4) 日本介護支援専門員協会からの依頼により、平成20年度厚生労働省老人健康増進事業「介護支援専門員の医療的ケアの知識向上のための調査研究委員会」に委員を派遣し協力することとなった。

3. 委員長の交替

平成20年9月30日付けで田中宏太佳委員長が退任し、10月1日より川手信行委員が委員長に就任した。

7 障害保健福祉委員会報告

担当理事：朝井芳美

委員長：樫本 修

委員：伊佐地隆，奥村元昭，篠原裕治，武原 格，古澤一成，松坂誠應

年度内交替委員：小池純子，鈴木恒彦

1. 委員会の開催

本年度は計4回開催した。

2. 活動内容

1) 障害者自立支援法，介護保険をはじめとする関連制度等についての検討

障害者自立支援法における三障害及び高次脳機能障害，高齢，小児などの関連領域において，情報の収集，意見交換を行った。特に「障害者自立支援法施行後3年の見直しについて」，「障害児支援の見直しに関する検討会報告書」と「産科医療補償制度」につき意見交換，検討を行った。

2) 社会参加推進のための障害者スポーツの検討

(1) 障害者スポーツ関連機関・団体のリスト（リハ医学会 web site リンク集）更新に向けて害者スポーツ関連機関・団体の調査を行った。

(2) リハ医学会ホームページの更新を行い，学会員用のページだけでなく市民向けページにも掲載して，障害当事者，一般市民にも情報を提供した。

3) 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション医のあり方の検討

リハ医学会員を対象とした地域リハビリテーション

に関するアンケートを完成させ，リハ医学会ホームページの会員ページ上で平成21年1月5日～3月31日の期間においてwebアンケートを行った。このアンケートでは，リハ医が地域リハ活動に参加できる要因を検討し，地域リハ活動を推進する体制を提案する。アンケート回収率向上を図る目的で，ホームページ上だけでなく専門医学会術集会，各地方会での呼びかけや，リハ医学会誌，リハニュースに記事を掲載して広報した。

3. 委員長の交替

平成20年9月30日付けで小池純子委員長が退任し，10月1日より樫本 修委員が委員長に就任した。

8 関連機器委員会

担当理事：住田幹男

委員長：越智文雄

委員：石井雅之，市江雅芳，沖 貞明，高塚 博，陳 隆明，古川 宏（特別委員）

1. 委員会の開催

本年度は3回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 運動療法・作業療法機器の使用頻度およびその効果に関するアンケート調査結果をリハビリテーション医学会誌9月号において報告した。

2) 福祉用具の選定に関する実態調査の調査対象を決定し，アンケートを作成した。

3) 福祉用具の選定に関する実態調査をWeb上で行う準備を実施した。

9 関連専門職委員会

担当理事：住田幹男

委員長：渡部一郎

委員：田中尚文，永田雅章，馬庭壯吉，染矢富士子

1. 委員会の開催

本年度は年4回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 当学会リハ全専門医（約1,200名）に対する，リハ関連専門職教育に関するアンケート調査を実施し，有効回答600名の結果について解析した。

2) 前述1)の結果をふまえ，関連専門職養成校教育担当者に対するリハ専門医の需給についてのアンケート調査を施行した。平成21年度1月31日締切で，43.4%（181/417校）の回収率であり，アン

ケート結果の入力・分析を開始した。

3) 第35回理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会の開催

厚生労働省と医療研修推進財団との共催の上記講習会（東京地区と大阪地区2箇所で開催）の運営に協力した。

10 会則検討委員会

担当理事：伊藤利之

委員長：佐直信彦

委員：猪飼哲夫，伊勢眞樹，影近謙治，高岡 徹

年度内交替委員：栢森良二

1. 委員会の開催

本年度は5回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 日本リハビリテーション医学会会則集の諸会則の整合性の検討と集大成

(1) 諸会則について，当該会則の出所を明らかにするために，根拠となる会則名を本文冒頭に記述することとし，本文中に引用されている会則名を新会則名に変更する作業を全て終了した。

(2) 会則の集大成に向け，会則の5分類（定款，細則，規則，内規，申し合わせ）と議決に関する基準，編修原則に従い，会則名の再度の見直しと，本文の書き換えに着手した。

2) 本委員会に依頼のあった会則の改定等について検討し，回答した。

3) 医師以外正会員の入会審査が18年度から会則検討委員会の任務となったことから，当該内規に従い入会審査を行った。

11 広報委員会

担当理事：田島文博

委員長：山田 深

委員：阿部和夫，安倍基幸，大高洋平，志波直人，野々垣学，平岡 崇

1. 委員会の開催

委員会を4回開催した（2008.4.25，7.4，10.10，2009.1.9）。

2. 活動内容

1) リハニュースの発行

(1) 37号（2008.4.15：会員用Webシステムについて），38号（7.15：日米リハビリテーション医療の相違：特

に電子カルテについて），39号（10.15：新理事長挨拶動き出したアクションプラン），40号（2009.1.15：リハ医育成アクションプラン策定WGについて）を発行した。

(2) 40号は創刊10周年記念号としてカラー刷りとした。

(3) 39号より新企画として患者（家族）会から「リハ医への期待」を連載開始した。

(4) ホームページからの閲覧についてpdfファイルのダウンロードに対応した。

2) ホームページ運用

(1) 7月14日の会員用Webシステム稼働に合せ，トップページデザインを更新した。また，「市民の皆様へ」などの一部コンテンツをアップデートした。

(2) その他のコンテンツについても平成21年春のリニューアルオープンを目指して改編作業を進めている。尚，ホームページの管理委託はダイナコム社に移行の予定である。

(3) 会員用Webシステムの利用推進へ向けて，リハニュースへのリーフレット綴じ込み等を始めた案内を行った。

3) リハ医育成アクションプラン

(1) 学会が推進するリハ医育成アクションプランにおいて，教育関連事業ともリンクした広報メディアの作成（パンフレット，DVDなど）とホームページの充実，ならびに女性医師へのアピールを推進する役割を担うこととなった。次年度はリハニュース特集，リクルート向けパンフレットおよびホームページを作成することとし，具体的作業に着手した。

4) その他

(1) 研修医へ向けた広報戦略の一環として，レジナビフェアへの出展を検討した。情報収集のためレジナビフェア2008大阪（3.2開催），東京（6.1）を視察したが，出展は病院単位が主体であり，現時点では学術団体としての出展に意義を見いだすことができなかった。

(2) 日本整形外科学会学術総会（2008.5.22～5.25）において，関連団体紹介ポスターを作成，掲示した。本学会の理念と目的，リハビリテーション科の役割を盛り込み，総合的なリハビリテーションの必要性についてアピールした。

(3) インターネットを利用し，第1回リハビリテー

ション・写真コンテストを開催した。75点の応募があり、優秀作品をリハニュース40号に掲載した。

12 国際委員会

担当理事：赤居正美，久保俊一

委員長：志波直人

委員：井手 陸，長谷 斉，佐浦隆一，花山耕三，吉田清和（アドバイザー），森原 徹（特別委員）

年度内交替委員：辻 哲也，馬場 尊

1. 委員会の開催

本年度は年5回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 平成20年度海外研修助成プログラムの実施

長坂誠氏（東北大学内部障害学分野），加賀谷斉（藤田保健衛生大学リハビリテーション医学教室）の2名を助成し，平成20年度内に海外研修（学会発表・施設訪問）が実施された。

2) 平成20年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムの実施

Dr. Marlis Gonzalez-Fernandez (Instructor, Physical Medicine and Rehabilitation, Johns Hopkins University, School of Medicine, 米国), Dr. Ngan Thi Hong Anh (Interim Director, Department of Rehabilitation Medicine, Vietnam National Institute of Gerontology, ベトナム) の2名が承認され，平成20年度内に交流が実施された。

なお，平成19年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムに承認されたが，調整がつかず平成19年度中に来日困難であった2名（Dr. Liao, Dr. Kim）については平成20年度の予算で執行される予定であったが，四川大地震の影響もありスケジュール調整が難しかったため，交流計画を取りやめることとした。

3) Honorary/Corresponding Member との連携体制

本年度から Honorary/Corresponding Member には，英文の本学会の年間活動報告（総会資料を参考に簡潔に）およびグリーティングカードを毎年12月に送付することを開始し，今後とも緊密にコミュニケーションをとっていくこととした。また，本学会誌の送付に関しては，基本的に邦文誌であり，ほとんどの Honorary/Corresponding Member には送付の必要が無いのではないかという点，さらには送料の問題もあり，今後は学会誌送付を取りやめることとした。

4) Honorary/Corresponding Member の拡充

欧米やアジア地域のリハ医学会とその指導者の情報を集め，Honorary/Corresponding Member 候補の探索を行った。本年度は，Mayo Clinic, Physical Medicine & Rehabilitation の Jeffrey R. Basford 教授の Corresponding Member を認定した。

また，Honorary/Corresponding Member に関しては，内規で Corresponding Member の義務として，原則として5年に1回以上，本学会が主催する学術集会あるいは関連学術集会に出席・発表もしくは本学会の機関誌あるいは日本国内のリハビリテーション医学関連学術誌に投稿することにより，本学会の発展に貢献することとされているが，実際には機能していないこと，資格条件は65歳未満とされているが取得後に65歳に達している方が数名いること，が懸案事項として挙げられた。さらに，海外では，65歳を過ぎても現職の教授で，学会の要職を歴任するなど積極的に活動し，Honoraryではなく，Corresponding Member に相応しいと判断される医師もおられることから，Honorary/Corresponding Member の要件変更に関しては会則検討委員会，役員会の議を経て，65歳の規定を削除した。

5) 第1回アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会議 (AOSPRM) (南京)

平成20年5月16日(金)～19日(月)に南京で開催され，赤居担当理事が本学会代表として参加，20カ国の700名が参加し盛会であった。第2回(2010年5月1～4日)台北，第3回(2012年5月)バリ島で開催予定。

6) 日韓合同カンファレンスについて

第1回AOSPRM会議(南京)の際に，赤居担当理事が，「日韓合同カンファレンスに関する取り決め」(平成19年度第3回国際委員会議事録参照)を韓国側に渡した。韓国側が持ち帰って現在協議中である。

7) その他

アジア地域のリハ医学交流を実現することを目標に，担当理事および各委員による世界各国との交流窓口開拓に努めた。

3. 委員長の交替

平成20年11月20日付けで辻哲也委員長が退任し，11月21日より志波直人委員が委員長に就任した。

13 診療ガイドライン委員会

担当理事：生駒一憲

委員長：園田 茂

コア委員：岡川敏郎，辻 哲也，渡部一郎，中馬孝容

1. 委員会の開催

計8回の委員会を開催した（コア委員会3回，脳卒中治療ガイドライン策定委員会1回，脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会1回，臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員会1回，リハビリテーション連携パス策定委員会2回，電子会議も含む）。

2. 活動内容

- 1) 「脳卒中治療ガイドライン2004」のリハビリテーション領域に関する改訂に関し，脳卒中関連5学会合同の脳卒中合同ガイドライン委員会からのコメントに対応して微修正を行った。
- 2) 「脳性麻痺リハビリテーションガイドライン」の策定作業を行い，パブリックコメントを募った。医学書院から平成21年6月に発行予定。
- 3) リハ連携パス策定委員会活動として「地域連携クリティカルパス（脳卒中リハビリテーション診療連携パス）」に関する指針を作成するための検討活動に入った。
- 4) 呼吸リハビリテーションガイドライン作成委員会は平成20年9月で解散した。
- 5) 臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員会は脳卒中に関する臨床研究・調査のためのガイドラインに準拠しているリハ学会抄録の解析を行っている。

14 システム委員会

担当常任理事：赤居正美

担当理事：田島文博

委員長：園田 茂

副委員長：山田 深

委員：加賀谷斉，菊地尚久，小林一成，正門由久

1. 委員会の開催

委員会を（インターネット会議も含め）7回開催した（2008.3.24-4.22，5.16，6.13-7.17，7.29-9.8，9.18-11.12，11.22-1.20，1.26-3.2）。

2. 活動内容

1) システムの1段階目導入

システムの2段階目導入（1段階目は，会員ID管理，掲示板，メール，アンケート（委任状を含め），2段階

目は，研修ポイント決済，会費・研修会費などの電子決済）のうちの1段階目を平成20年7月14日に導入した。学会誌などに周知活動を行った。当初パスワードは原則生年月日，希望者には郵送とした。掲示板として全会員用掲示板，学会各委員会用掲示板，評議員用掲示板，専門医用掲示板，専門医会幹事会用掲示板を設けた。掲示板削除ポリシーなどを含んだシステム利用ガイドラインなど各種運用取り決めを定めた。

2) 1段階目導入後の検討

理事などにシステムアンケートを行った。その結果を受けて掲示板の改良作業を開始した。単位取得状況通知表表記に関し，システムトラブルが発生し，修正された。掲示板メンバー設定自動化も検討を開始した。2段階目に関しては順次検討しているが，来年度以降の課題である。評価・用語委員会からの依頼をうけて，リハ用語集辞書をシステムに置いた。システム登録者増加案（学術大会への演題登録について，会員用Webシステムを経由して行うよう設定する，等）を検討している。

3) システム登録者数

平成21年3月31日現在，1,996名である。

15 専門医会報告

担当理事：上月正博

幹事長：菊地尚久

副幹事長：佐伯 覚，正門由久

幹事：青柳陽一郎，浅見豊子，池田 聡，石合純夫，近藤和泉，菅 俊光，菅原英和

1. 総会，学術集会，幹事会の開催

本年度は総会2回（定例1回，臨時1回），学術集会1回，幹事会3回が開催された。その他，幹事会専用掲示板で，議論，情報交換等を行った。

2. 活動内容および報告

1) 総会（平成20年6月および12月）

平成20年6月5日の第45回日本リハビリテーション医学会学術集会中に臨時総会を開催した。報告内容は①平成20年7月14日からシステムが稼動し，学会web上で専門医間での本格的なコミュニケーションが開始されること，②リハビリテーション科専門医の需給に関するWGの報告で，審議事項として①システムの活用方法，②第3回専門医会学術集会の準備状況（佐伯，池田幹事），③第4回専門医会学術集会の準備状況（朝貝幹事），④幹事選挙を第3回専門医会学術

集会時に行うことがあげられた。また、専門医会幹事で理事になられた先生方も12月の幹事選挙までは、その責務を全うしていただくことになり、賛同を得た。

平成20年12月6日福岡市都久志会館にて平成20年度専門医会定例総会を開催した。専門医会新幹事候補者の選出選挙が行われ、青柳陽一郎、浅見豊子、池田聡、石合純夫、菊地尚久、近藤和泉、佐伯覚、菅俊光、菅原英和、正門由久が幹事候補として選出された。報告事項は①リハ医育成アクションプラン策定WGの進行状況と専門医会の関わり（佐伯、池田幹事）、②データマネジメントWGの進行状況（正門幹事）で、審議事項は①今後の専門医会のあり方と役割、②第5回専門医会学術集会の代表世話人として横浜市大の菊地尚久を推薦、③第4回専門医会学術集会の準備状況（朝貝幹事）、④第46回学術集会開催時の企画として「リハビリテーションの処方について」を行うことなどであった。

2) 第1回新幹事会（平成20年12月7日）

平成20年12月7日福岡市都久志会館にて第1回幹事会を開催した。幹事長として菊地尚久が互選され、副幹事長に佐伯覚、正門由久が指名された。提案事項として①専門医間の交流をより活発にし、より多くの専門医の意見を取り入れる。各地方会の中で掲示板の活用などにより専門医間の交流ができるようなシステムづくりを行い、所属する地方会の各幹事が代表となり、幹事が不在の地方会は特別委員を代表とすること、②リハの各分野の研究に関するSIG (Special interest group)、専門医に対する教育、リハ医を増やすためのアプローチに関するワーキンググループを立ち上げ、専門医が活発に議論できる場を提供する、③学会活動を発展させるために各委員会の情報を横断的に交換できる場として専門医会を活用する、④基礎研究に関するワーキンググループを立ち上げる、⑤女性専門医、若手専門医のワーキンググループを立ち上げる⑥初期研修医のリクルートに関する各施設間の情報交換を行う、⑦専門医会をアピールする場をもっと増やす、⑧リハ医育成アクションプランを展開する上で、専門医および認定臨床医の背景情報を知り、活用することがあげられた。

3) 第3回専門医会学術集会の開催について

上述した総会、幹事会とともに、平成20年12月6日、7日に福岡市都久志会館ホールにて第3回専門医

会学術集会が佐伯覚、池田聡、両代表世話人により開催され、盛会のうちに閉会した。

■ 審議事項

I. 平成20年度事業報告及び収支決算

平成20年度事業報告について、庶務担当の吉永常任理事から説明が行われ、承認された。

平成20年度収支決算について、財務担当の上月常任理事から、説明が行われ、引き続き江藤監事から、平成20年度の業務執行及び財産の状況に係る監査を実施した結果、適正に処理されていると認める旨報告が行われ、原案どおり承認された。（表1～5）

平成20年度 事業報告

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

1. 会員現況

	平成21年 3月31日	平成20年 3月31日	増 減
会員総数	9,707名	9,783名	△76名
医 師	9,504名	9,584名	△80名
医師以外	203名	199名	4名

（名誉会員含）

新入会 421名

退 会 497名

物故会員（敬称略）

香取 勲	寶積 豊	深川 利義	古江 増裕
山口 弾之	加倉井周一	永倉 靖久	遠山 正道
山本 一樹	日沖 甚生	森宗 勸	横山 巖
山野内忠雄	鈴木 一太	矢田 毅	蓮本 正詞
永井 隆	藤堂 昭	国里宏一郎	谷岡 達男
井上 和彦	服部 獎	大和田 修	前田 浩治

2. 役員、評議員、各種委員会委員

役員：理事長1名、常任理事3名、理事12名、監事2名、幹事4名

評議員：199名

各種委員会委員：編集委員会10名、評価・用語委員会6名、教育委員会9名、認定委員会8名、試験問題作成委員会10名、社会保険等委員会13名、障害保健福祉委員会7名、関連機器委員会6名、関連専門職委員会5名、会則検討委員会5名、広報委員会7名、国際委員会5名、診療ガイドライン委員会5名、システ

△委員会 5名

3. 学術集会の開催について

1) 第45回日本リハビリテーション医学会学術集會を、平成20年6月4日、5日、6日の3日間、横浜市 パシフィコ横浜會議センター・展示ホールに於いて開催した。

2) 第3回専門医会学術集會を、平成20年12月6日、7日の2日間、福岡市 都久志會館ホールに於いて開催した。

4. 諸會議

1) 通常總會の開催：平成20年6月4日

2) 評議員會の開催：平成20年6月3日

3) 理事會の開催：第1回 平成20年4月26日

第2回 平成20年6月3日

第3回 平成20年6月6日

第4回 平成20年7月26日

第5回 平成20年9月27日

第6回 平成20年11月22日

第7回 平成21年1月24日

第8回 平成21年3月14日

4) 地方會總會・学術集會の開催

(1) 北海道地方會

○第17回北海道地方會

開催日 平成20年4月26日

開催場所 札幌医科大学臨床大講堂

出席者数 61名

○第18回北海道地方會

開催日 平成20年10月4日

開催場所 北海道大学医学部臨床講義棟大講堂

出席者数 56名

(2) 東北地方會

○第24回東北地方會

開催日 平成20年9月27日

場所場所 秋田県総合保健センター大会議室

出席者数 52名

○第25回東北地方會

開催日 平成21年2月28日

開催場所 山形市保健センター

出席者数 68名

(3) 関東地方會

○第40回関東地方會学術集會

開催日 平成20年9月20日

開催場所 つくば國際會議場

出席者数 60名

○第41回関東地方會学術集會

開催日 平成20年12月13日

開催場所 慶應義塾大学医学部北里講堂

出席者数 151名

○第42回関東地方會学術集會

開催日 平成21年3月7日

開催場所 江戸川区総合区民ホール

出席者数 187名

(4) 北陸地方會

○第24回北陸地方會總會

開催日 平成20年9月6日

開催場所 石川厚生年金會館

出席者数 37名

○第25回北陸地方會總會

開催日 平成21年3月28日

開催場所 ANAクラウンプラザホテル金沢

出席者数 55名

(5) 中部・東海地方會

○第23回中部・東海地方會總會

開催日 平成20年8月23日

開催場所 大正製藥名古屋支店

出席者数 47名

○第24回中部・東海地方會

開催日 平成21年2月7日

開催場所 大正製藥名古屋支店

出席者数 61名

(6) 近畿地方會

○第25回近畿地方會学術集會

開催日 平成20年9月6日

開催場所 医療法人大道會森之宮病院ウッディー
ホール

出席者数 152名

○第26回近畿地方會学術集會

開催日 平成21年2月28日

開催場所 奈良県立医科大学厳檀會館

出席者数 122名

(7) 中国・四国地方會

○第21回中国・四国地方會總會

開催日 平成20年6月29日

開催場所 高知大学医学部臨床講義棟

出席者数 89名

○第22回中国・四国地方會總會

▶表 1

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	41,440,689	28,713,005	12,727,684
仮払金	0	1,183,815	△ 1,183,815
前払金	5,000,000	10,573,000	△ 5,573,000
前払費用	7,350	0	7,350
流動資産合計	46,448,039	40,469,820	5,978,219
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
学術研究助成資産	80,000,000	80,000,000	0
学術集会事業積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	1,615,620	1,520,340	95,280
特定資産合計	91,615,620	91,520,340	95,280
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	289,380	0	289,380
保証金	1,050,000	1,050,000	0
その他固定資産合計	1,339,380	1,050,000	289,380
固定資産合計	192,955,000	192,570,340	384,660
資産合計	239,403,039	233,040,160	6,362,879
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	318,644	0	318,644
預り金	546,220	876,604	△ 330,384
未払住民税	70,000	0	70,000
未払消費税等	790,500	0	790,500
流動負債合計	1,725,364	876,604	848,760
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,615,620	1,520,340	95,280
固定負債合計	1,615,620	1,520,340	95,280
負債合計	3,340,984	2,396,944	944,040
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	236,062,055	230,643,216	5,418,839
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(90,000,000)	(90,000,000)	(0)
正味財産合計	236,062,055	230,643,216	5,418,839
負債及び正味財産合計	239,403,039	233,040,160	6,362,879

開催日 平成 20 年 12 月 14 日

開催場所 岡山大学医学部臨床講義棟

出席者数 127 名

(8) 九州地方会

○第 24 回九州地方会

開催日 平成 20 年 9 月 7 日

開催場所 リーガロイヤルホテル小倉

出席者数 249 名

○第 25 回九州地方会

開催日 平成 21 年 2 月 22 日

開催場所 鹿児島大学病院鶴陵会館

出席者数 180 名

5) 倫理委員会

日本リハビリテーション医学会倫理綱領（暫定版）に対する意見を会員に広く求め、決定版として公表した。

6) 専門医会

①専門医会学術集会を 1 回開催した。

②専門医会総会（定例 1 回、臨時 1 回）と幹事会を 3 回開催した。また、幹事会専用掲示板で、議論、情報交換等を行った。

7) 地方会連絡協議会

各地方会のホームページに「専門医試験相談窓口」の開設を行うこととなった。また、専門医育成アク

▶表 2

正味財産増減計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	115,094,000	116,134,000	△ 1,040,000
正会員受取会費	115,094,000	116,134,000	△ 1,040,000
② 事業収益	134,319,633	125,591,460	8,728,173
学術集会事業収益	88,683,500	87,895,866	787,634
会誌等発行事業収益	13,635,133	14,009,594	△ 374,461
専門医等認定事業収益	18,032,000	11,350,000	6,682,000
研修会事業収益	9,319,000	10,110,000	△ 791,000
専門医会収益	4,650,000	2,226,000	2,424,000
③ 基本財産運用益	620,195	677,755	△ 57,560
基本財産受取利息	300,086	301,120	△ 1,034
学術研究助成基金受取利息	320,109	376,635	△ 56,526
④ 雑収益	384,079	233,391	150,688
受取利息	121,070	92,698	28,372
雑収益	263,009	140,693	122,316
経常収益計	250,417,907	242,636,606	7,781,301
(2) 経常費用			
① 事業費	178,320,568	187,074,184	△ 8,753,616
学術集会事業費	71,545,220	81,842,269	△ 10,297,049
抄録集作成費	5,265,479	7,079,232	△ 1,813,753
会誌発行費	36,977,718	34,605,625	2,372,093
リハニュース発行費	5,491,993	4,867,681	624,312
各種委員会旅費・会場費	14,528,099	13,738,399	789,700
各種委員会経費	2,692,329	4,240,337	△ 1,548,008
専門医等認定事業費	10,670,464	7,283,112	3,387,352
実習研修事業費	548,174	389,454	158,720
研修会事業費	12,721,581	10,361,983	2,359,598
海外研修助成金	1,300,000	2,150,890	△ 850,890
国際会議出席旅費補助金	0	180,040	△ 180,040
優秀論文表彰金	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業費	2,425,951	2,350,332	75,619
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,000,000	960,000
診療ガイドライン策定費	1,415,068	1,702,546	△ 287,478
専門医会経費	4,378,492	2,767,726	1,610,766
用語集作成費	0	6,114,558	△ 6,114,558
② 管理費	66,678,500	70,395,095	△ 3,716,595
給料手当	29,620,228	31,459,351	△ 1,839,123
退職給付費用	786,840	700,000	86,840
福利厚生費	3,723,185	4,254,980	△ 531,795
総会費	2,969,402	1,777,869	1,191,533
理事会費	6,824,129	6,037,535	786,594
旅費交通費	429,690	1,044,970	△ 615,280
顧問料	2,094,750	882,000	1,212,750
ホームページ維持管理費	2,481,360	1,944,705	536,655
通信運搬費	1,668,919	2,483,837	△ 814,918
情報関連整備費	1,922,398	5,142,693	△ 3,220,295
什器備品費	102,550	1,401,231	△ 1,298,681
消耗品費	524,509	650,506	△ 125,997

シヨンプラン策定WGの設置，専門医会との連携，評議員選挙の実施及び地方会生涯教育研修会の講師資格について検討した。

8) 各種委員会の開催

- ① 編集委員会 6回
- ② 評価・用語委員会 5回
- ③ 教育委員会 5回
- ④ 認定委員会 7回
- ⑤ 試験問題委員会 7回
- ⑥ 社会保険等委員会 7回
- ⑦ 障害保健福祉委員会 4回
- ⑧ 関連機器委員会 5回

- ⑨ 関連専門職委員会 4回
- ⑩ 会則検討委員会 5回
- ⑪ 広報委員会 4回
- ⑫ 国際委員会 5回
- ⑬ 診療ガイドライン委員会 8回
- ⑭ システム委員会 7回

9) ワーキンググループ

- ① リハ医育成アクションプラン策定WG
- ② データマネジメントWG
- ③ 評議員選挙実施に対する検討委員会
- ④ 公益法人制度に伴うWG

印刷製本費	1,296,710	1,388,351	△ 91,641
光熱水料費	657,294	622,820	34,474
賃借料	5,262,384	5,223,391	38,993
租税公課	1,409,800	417,800	992,000
負担金	2,623,800	2,939,204	△ 315,404
支払手数料	1,552,926	1,194,448	358,478
減価償却費	44,520	0	44,520
雑費	683,106	829,404	△ 146,298
当期 経常費用計	244,999,068	257,469,279	△ 12,470,211
当期 当期経常増減額	5,418,839	△ 14,832,673	20,251,512
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,418,839	△ 14,832,673	20,251,512
一般正味財産期首残高	230,643,216	245,475,889	△ 14,832,673
一般正味財産期末残高	236,062,055	230,643,216	5,418,839
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	236,062,055	230,643,216	5,418,839

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

1) 引当金の計上基準について

退職給付引当金：事務局職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送

各種委員会委員（特別委員等を含む） 431名

6. (後援),(協賛)等依頼

1) 第23回生体・生理工学シンポジウム (協賛)

(社団法人計測自動制御学会)

2) ヒューマンインターフェースシンポジウム 2008 (協賛)

(ヒューマンインターフェース学会)

3) HOSPEXjapan 2008－医療・福祉施設のための専門展示会 (協賛)

(第37回日本医療福祉設備学会併設展示会)

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	80,000,000	0	0	80,000,000
学術集会所事業積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
退職給付引当資産	1,520,340	95,280	0	1,615,620
小計	91,520,340	95,280	0	91,615,620
合計	191,520,340	95,280	0	191,615,620

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学術研究助成資産	80,000,000	(0)	(80,000,000)	—
学術集会所事業積立資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
退職給付引当資産	1,615,620	(0)	(0)	(1,615,620)
小計	91,615,620	(0)	(90,000,000)	(1,615,620)
合計	191,615,620	(0)	(190,000,000)	(1,615,620)

(日本医療福祉施設設備協会 社団法人日本能率協会)

4) 義肢装具 SIG 第4回講習会 (協賛)

(日本リハビリテーション工学協会義肢装具 SIG)

5) 平成20年度運動療法機能訓練技能講習会 (後援)

(社団法人全国病院理学療法協会)

6) プライマリ・ケア医のための臨床研究デザイン塾

2008年集中セミナー

(NPO法人健康医療評価研究機構)

7) 日本リハビリテーション心理研究会 (協賛)

(日本リハビリテーション心理研究会)

8) 第31回てんかん基礎講座 (協賛)

(日本てんかん協会)

▶表 3

財産目録

(平成21年3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		171,822	
振替貯金		11,556,973	
郵便貯金	通常貯金	1,453,511	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店	9,492,401	
同	三井住友銀行 千川支店	9,463,016	
同	東京シティ信用金庫 神楽坂支店	9,302,966	
前払費用	ドメイン管理料	7,350	
前払金	次年度学術集会運営費	5,000,000	
流動資産合計			46,448,039
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	三菱UFJ信託銀行 池袋支店 定期預金	100,000,000	
基本財産合計			100,000,000
(2) 特定資産			
学術研究助成資産	三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店 定期預金	80,000,000	
学術集会事業積立資産	三井住友銀行 千川支店 同	10,000,000	
退職給付引当資産	東京シティ信用金庫 神楽坂支店 普通預金	1,615,620	
特定資産合計			91,615,620
(3) その他固定資産			
	会計ソフト	289,380	
	ソフトウェア	1,050,000	
	保証金 事務局賃貸契約	1,339,380	
その他固定資産合計			192,955,000
固定資産合計			192,955,000
資産合計			239,403,039
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	学会誌PDFデータ作成料他	318,644	
預り金	職員に対する源泉所得税他	546,220	
未払住民税	法人住民税均等割	70,000	
未払消費税等	消費税及び地方消費税	790,500	
流動負債合計			1,725,364
2. 固定負債			
退職給付引当金		1,615,620	
固定負債合計			1,615,620
負債合計			3,340,984
正味財産			236,062,055

- | | | |
|--|------|--|
| 9) 第23回リハビリ工学カンファレンス
(日本リハビリテーション工学協会) | (協賛) | (特定非営利活動法人モバイル学会) |
| 10) SIG 姿勢保持講習会 2008
(日本リハビリテーション工学協会 SGI「姿勢保持」) | (協賛) | 18) 認知症国際フォーラム
(認知症国際フォーラム推進委員会) |
| 11) きょうされん 第31回全国大会 in ひろしま
(きょうされん) | (後援) | 19) 地域リハ・ケアフォーラム 2008「地域でいきいきと！」
(社団法人日本理学療法士協会 他) |
| 12) リハビリテーション・ケア合同研究大会 福井 2008
(日本リハビリテーション病院・施設協会 他) | (後援) | 20) 第43回日本作業療法学会
(社団法人日本作業療法士協会) |
| 13) 第58回日本理学療法学会
(社団法人全国病院理学療法協会) | (後援) | 21) 日本人間工学会第50回記念大会
(日本人間工学会) |
| 14) てんかん運動発足35周年記念大会「第35回全国大会(東京大会)」
(社団法人日本てんかん協会) | (協賛) | 22) 第21回バイオメカニズムシンポジウム
(バイオメカニズム学会) |
| 15) 第44回日本理学療法学会
(社団法人日本理学療法士協会) | (後援) | 23) リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島 2009
(日本リハビリテーション病院・施設協会 他) |
| 16) 平成20年度義肢装具等適合判定医師研修会
(厚生労働省) | (後援) | 24) 第30回バイオメカニズム学術講演会
(バイオメカニズム学会) |
| 17) シンポジウム「モバイル09」 | (協賛) | 25) 第44回日本理学療法士協会全国学術研修大会
(社団法人日本理学療法士協会) |
| | | 26) 生体医工学シンポジウム 2009
(協賛) |

(社団法人日本生体医工学会)

7. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第45巻第4号～第12号、特別号(抄録集)、第46巻第1号～第3号計13冊を発行した。

8. リハニュースの発行

年4回発行した。(平成20年4月から第37号～第40号まで)

9. ホームページの管理・運営

会員用Webシステム稼働に合わせトップページデザインの更新及「市民の皆様へ」などの一部コンテンツをアップデートした。また、その他のコンテンツについても平成21年春のリニューアルオープンを目指して改編作業を進めている。

10. 教育及び研修

1) 卒後実習研修会

- ・脊損・尿路管理研修会

期日：平成20年9月20日～21日

会場：兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院

受講者数：21名

- ・小児のリハビリテーション研修会

期日：平成20年9月25日～27日

会場：宮城県拓桃医療療育センター

受講者数：35名

- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会

期日：平成20年10月4日～5日

会場：慶應義塾大学医学部

受講者数：51名

- ・福祉・地域リハビリテーション研修会

期日：平成21年2月13日～15日

会場：横浜市総合リハビリテーションセンター

受講者数：13名

- ・動作解析・運動学実習研修会

期日：平成21年3月26日～28日

会場：藤田保健衛生大学

受講者数：15名

- ・義手・義足適合判定アドバンスコース

①期日：平成20年9月7日～8日

会場：吉備高原医療リハビリテーションセンター

②期日：平成20年10月20日

会場：岡山労働基準監督署

受講者数：10名

2) 学術集会研修会

期日：平成20年6月4日～6日

会場：パシフィコ横浜会議センター・展示ホール

受講者数：2,937名

3) 専門医会学術集会研修会

期日：平成20年12月6日～7日

会場：福岡市 都久志会館ホール

受講者数：376名

4) 一般医家向け研修会

- ・「脳血管障害等」

期日：平成20年9月27日～28日

会場：全社協・灘尾ホール

受講者数：134名

- ・「運動器」

期日：平成20年12月13日～14日

会場：全社協・灘尾ホール

受講者数：118名

- ・「呼吸器」

期日：平成21年2月21日～22日

会場：全社協・灘尾ホール

受講者数：91名

5) 生涯教育研修会

日本リハビリテーション医学会主催

- ・期日：平成20年9月7日

会場：大手町サンケイプラザ

受講者数：150名

- ・期日：平成21年3月22日

会場：大手町サンケイプラザ

受講者数：136名

北海道ブロック

- ・期日：平成20年4月26日

会場：札幌医科大学臨床大講堂

受講者数：60名

- ・期日：平成20年10月4日

会場：北海道大学医学部臨床講義棟大講堂

受講者数：52名

- ・期日：平成21年3月7日

会場：北海道大学学術交流会館

受講者数：45名

東北ブロック

- ・期日平成20年9月27日

会場：秋田県総合保健センター大会議室

受講者数：52名

▶表 4

収 支 計 算 書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	116,040,000	115,094,000	946,000	
正会員会費収入	116,040,000	115,094,000	946,000	
② 事業収入	112,930,000	134,319,633	△ 21,389,633	
学術集会事業収入	65,950,000	88,683,500	△ 22,733,500	
参加費収入	36,300,000	47,079,000	△ 10,779,000	
抄録集販売収入	900,000	846,000	54,000	
展示収入	10,000,000	15,204,000	△ 5,204,000	
広告料収入	1,500,000	3,202,500	△ 1,702,500	
協賛金等収入	16,410,000	21,500,000	△ 5,090,000	
共同演者申込料収入	840,000	852,000	△ 12,000	
会誌等発行事業収入	14,380,000	13,635,133	744,867	
別刷収入	530,000	719,720	△ 189,720	
広告料収入	4,000,000	4,514,760	△ 514,760	
会誌販売収入	7,600,000	7,895,410	△ 295,410	
用語集販売収入	950,000	0	950,000	
著作権料収入	1,300,000	505,243	794,757	
専門医等認定事業収入	32,600,000	32,001,000	599,000	
審査料収入	6,900,000	11,720,000	△ 4,820,000	
登録料収入	4,000,000	5,310,000	△ 1,310,000	
更新料収入	500,000	1,002,000	△ 502,000	
実習研修事業収入	3,800,000	0	3,800,000	
研修会事業収入	15,400,000	9,319,000	6,081,000	
専門医会収入	2,000,000	4,650,000	△ 2,650,000	
③ 基本財産運用収入	550,000	620,195	△ 70,195	
基本財産利息収入	300,000	300,086	△ 86	
学術研究助成基金利息収入	250,000	320,109	△ 70,109	
④ 雑収入	190,000	384,079	△ 194,079	
受取利息収入	90,000	121,070	△ 31,070	
雑収入	100,000	263,009	△ 163,009	
事業活動収入計	229,710,000	250,417,907	△ 20,707,907	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	175,460,000	178,320,568	△ 2,860,568	
学術集会事業費支出	65,950,000	71,545,220	△ 5,595,220	
会場費支出	24,819,000	22,531,788	2,287,212	
運営費支出	32,625,000	41,176,164	△ 8,551,164	
印刷・通信費支出	3,069,000	4,371,572	△ 1,302,572	
会議費等支出	866,000	637,555	228,445	
事務局経費支出	4,571,000	2,828,141	1,742,859	
抄録集作成費支出	7,000,000	5,265,479	1,734,521	
会誌発行費支出	35,000,000	36,977,718	△ 1,977,718	
リハニューズ発行費支出	4,800,000	5,491,993	△ 691,993	
各種委員会旅費・会場費支出	13,700,000	14,528,099	△ 828,099	
各種委員会経費支出	2,250,000	2,692,329	△ 442,329	
専門医等認定事業支出	7,300,000	10,670,464	△ 3,370,464	
実習研修事業支出	3,800,000	548,174	3,251,826	
研修会事業支出	15,400,000	12,721,581	2,678,419	
海外研修助成金支出	3,000,000	1,300,000	1,700,000	
国際会議出席旅費補助金支出	500,000	0	500,000	

・ 期日：平成 21 年 2 月 28 日
 会場：山形市保健センター
 受講者数：62 名

関東ブロック

・ 期日：平成 20 年 9 月 20 日
 会場：つくば国際会議場
 受講者数：49 名

・ 期日：平成 20 年 10 月 4 日
 会場：新潟大学医学部有任記念会館
 受講者数：23 名

・ 期日：平成 20 年 12 月 13 日
 会場：慶應義塾大学医学部北里講堂

受講者数：104 名

・ 期日：平成 21 年 2 月 21 日
 会場：前橋テルサ
 受講者数：49 名

・ 期日：平成 21 年 3 月 7 日
 会場：江戸川区総合区民ホール
 受講者数：139 名

北陸ブロック

・ 期日：平成 20 年 9 月 6 日
 会場：石川厚生年金会館
 受講者数：33 名

・ 期日：平成 21 年 3 月 28 日

優秀論文表彰金支出	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業支出	3,000,000	2,425,951	574,049
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0
診療がトラウマ策定支出	1,500,000	1,415,068	84,932
専門医会経費支出	3,900,000	4,378,492	△ 478,492
② 管理費支出	68,930,000	66,538,700	2,391,300
給料手当支出	34,000,000	29,620,228	4,379,772
退職給付支出	0	691,560	△ 691,560
福利厚生費支出	4,300,000	3,723,185	576,815
総会費支出	2,000,000	2,969,402	△ 969,402
理事会費支出	6,000,000	6,824,129	△ 824,129
旅費交通費支出	600,000	429,690	170,310
顧問料支出	880,000	2,094,750	△ 1,214,750
ホームページ維持管理費支出	1,700,000	2,481,360	△ 781,360
通信運搬費支出	1,700,000	1,668,919	31,081
情報関連整備費支出	4,470,000	1,922,398	2,547,602
什器備品費支出	300,000	102,550	197,450
消耗品費支出	400,000	524,509	△ 124,509
印刷製本費支出	1,100,000	1,296,710	△ 196,710
光熱水料費支出	630,000	657,294	△ 27,294
賃借料支出	5,200,000	5,262,384	△ 62,384
租税公課支出	400,000	1,409,800	△ 1,009,800
負担金支出	2,900,000	2,623,800	276,200
支払手数料支出	1,750,000	1,552,926	197,074
雑支出	600,000	683,106	△ 83,106
事業活動支出計	244,390,000	244,859,268	△ 469,268
事業活動収支差額	△ 14,680,000	5,558,639	△ 20,238,639
II 投資活動支出の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	10,000,000	0	10,000,000
学術研究助成資産取崩収入	10,000,000	0	10,000,000
② その他収入	0	5,573,000	△ 5,573,000
前払金収入	0	5,573,000	△ 5,573,000
投資活動収入計	10,000,000	5,573,000	4,427,000
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	1,100,000	95,280	1,004,720
退職給付引当資産取得支出	1,100,000	95,280	1,004,720
② その他支出	0	341,250	△ 341,250
前払費用支出	0	7,350	△ 7,350
ソフトウェア取得支出	0	333,900	△ 333,900
投資活動支出計	1,100,000	436,530	663,470
投資活動収支差額	8,900,000	5,136,470	3,763,530
III 予備費支出	500,000	0	500,000
当期収支差額	△ 6,280,000	10,695,109	△ 16,975,109
前期繰越収支差額	29,020,216	29,020,216	0
次期繰越収支差額	22,740,216	39,715,325	△ 16,975,109

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には現金・郵便貯金・普通預金・仮払金・預り金・未払金・未払住民税・未払消費税等を含めて

いる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する
とおりである。

2. 時期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	(単位：円)	
	前期末残高	当期末残高
現金	150,975	171,822
郵便貯金	10,753,328	13,010,484
普通預金	17,808,702	28,258,383
仮払金	1,183,815	0
合計	29,896,820	41,440,689
預り金	876,604	546,220
未払金	0	318,644
未払住民税	0	70,000
未払消費税等	0	790,500
合計	876,604	1,725,364
次期繰越収支差額	29,020,216	39,715,325

3. 負担金内訳

日本障害者協議会、専門医認定制機構、日本障害者リハビリテーション協会、内保連、外保連、理学療法士等講習会

会場：ANA クラウンプラザホテル金沢

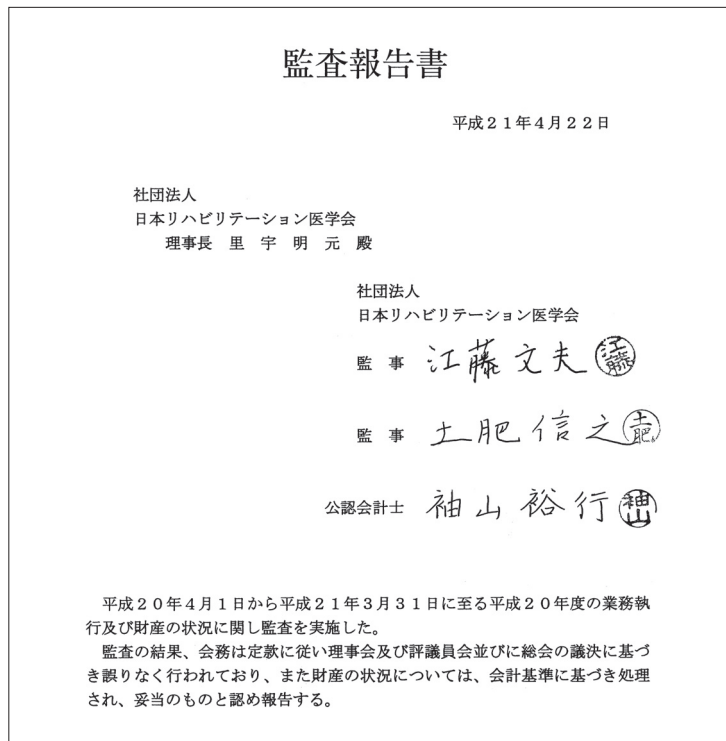
受講者数：46名

中部・東海ブロック

・期日：平成20年8月23日

会場：大正製薬名古屋支店

受講者数：88名



- ・ 期日：平成20年8月30日
会場：静岡グランドホテル中島
受講者数：35名
- ・ 期日：平成20年10月11日
会場：長野県松本文化会館
受講者数：35名
- ・ 期日：平成21年1月24日
会場：江崎ホール
受講者数：41名
- ・ 期日：平成21年2月7日
会場：大正製薬名古屋支店
受講者数：98名
- 近畿ブロック
 - ・ 期日：平成20年5月31日
会場：京都府立医科大学附属図書館ホール
受講者数：75名
 - ・ 期日：平成20年7月5日
会場：市立豊中病院管理棟5F
受講者数：130名
 - ・ 期日：平成20年9月6日
会場：医療法人大道会森之宮病院ウッドイー
- 中国・四国ブロック
 - ・ 期日：平成20年6月29日
会場：高知大学医学部臨床講義棟
受講者数：76名
 - ・ 期日：平成20年8月3日
会場：川崎医科大学本館7F
受講者数：92名
- ホール
 - ・ 期日：平成20年10月11日
会場：上村ニッセイビル（中外製薬会議室）
受講者数：82名
 - ・ 期日：平成20年11月8日
会場：兵庫県民会館9Fホール
受講者数：83名
 - ・ 期日：平成20年11月16日
会場：京都府立医科大学附属図書館ホール
受講者数：49名
 - ・ 期日：平成21年2月28日
会場：奈良県立医科大学蔵書館
受講者数：94名

- ・期日：平成20年11月22日
会場：高新文化ホール7F
受講者数：45名
- ・期日：平成20年12月14日
会場：岡山大学医学部臨床講義棟
受講者数：123名

九州ブロック

- ・期日：平成20年9月7日
会場：リーガロイヤルホテル小倉
受講者数：226名
- ・期日：平成21年2月22日
会場：鹿児島大学病院鶴陵会館
受講者数：145名

11. 専門医，認定臨床医の認定

1) 平成20年度専門医認定者数	191名
平成21年3月末現在	1,649名
2) 平成20年度認定臨床医認定者数	68名
平成21年3月末現在	4,127名

12. 指導責任者の認定

平成20年度指導責任者認定者数	41名
平成21年3月末現在	812名

13. 研修施設の認定

平成20年度研修施設認定数	34施設
平成21年3月末現在	467施設

14. 移行に伴う専門医認定

2回，移行に伴う審査認定（試験審査）を行った。

15. 学術研究助成

本学会誌に掲載された論文のうち優秀な論文を表彰した。また，若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修助成を行った。

16. 市民公開講座の開催

平成20年度は，①札幌市②大分市の各地で市民公開講座を開催し，広くリハビリテーション医学・医療の啓発に努めた。

II. 平成21年度収支暫定予算

平成21年度収支暫定予算案について，財務担当の上月常任理事から，説明が行われ，原案どおり承認された。（表6）

III. 平成21年度事業計画案及び収支予算

平成21年度事業について，はじめに事業方針について里宇理事長から，引き続き事業計画案について庶

務担当の吉永常任理事から説明が行われ，承認された。

平成21年度収支予算案について，財務担当の上月常任理事から説明が行われ，原案どおり承認された（表7）。

平成21年度 事業計画

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

【事業方針】

1. 学術活動の推進

- ①年次学術集会を開催する。
- ②地方会学術集会を開催する。
- ③専門医会学術集会を開催する。
- ④学会誌を刊行し，内容の充実と利便性の向上を図る。

2. 専門医制度の充実と発展

- ①自律的な質的保証の仕組みを作る。
- ②研修施設と研修の機会を拡充し，指導体制を充実させる。
- ③専門医を増やすとともに，認定臨床医の位置づけを検討する。

3. 卒前・卒後教育の強化

- ①卒前のリハビリテーション医学教育を充実させる。
- ②臨床研修制度の改定を踏まえ，リハビリテーション医学教育の充実を図る。
- ③医師生涯学習におけるリハビリテーション医学教育を充実させる。

4. 調査・研究事業の推進

- ①診療ガイドラインを策定する。
- ②エビデンス構築基盤を整備する。
- ③多施設共同研究を企画し，推進する。

5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ①関連団体との連携と情報交換を強化する。
- ②医療保険，介護保険，自立支援法等の改定スケジュールを踏まえた機敏な対応を行う。
- ③制度体系の中長期的展望に立った提言を行う。

6. 社会への貢献

- ①リハビリテーション医療の充実を図り，障害者の社会参加支援を促進する。
- ②市民啓発事業を実施する。
- ③大規模災害等への対応を含め，学会の危機管理体制を整備する。

▶表 6

平成21年度暫定収支予算書

(平成21年4月1日から平成21年6月4日まで)

(単位：円)

科 目	暫定予算額	前年度予算額	増△減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費収入				
正会員会費収入	95,000,000	95,300,000	△ 300,000	
会員収入計	95,000,000	95,300,000	△ 300,000	
② 事業収入				
学術集会事業収入	0	0	0	
参加費収入	0	0	0	
抄録集収入	0	0	0	
展示収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
協賛金等収入	0	0	0	
共同演者申込料収入	0	0	0	
会誌等発行事業収入	890,000	880,000	10,000	
別刷収入	90,000	90,000	0	
広告料収入	700,000	570,000	130,000	
会員外会誌販売収入	0	0	0	
用語集販売収入	200,000	200,000	0	
著作権料収入	20,000	20,000	0	
専門医等認定事業収入	1,120,000	1,240,000	△ 120,000	
審査料収入	0	150,000	△ 150,000	20年度で終了
登録料収入	620,000	620,000	0	
更新料収入	500,000	470,000	30,000	
研修会事業収入	0	0	0	
専門医会収入	0	0	0	
事業収入計	2,010,000	2,120,000	△ 110,000	
③ 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	0	0	0	
学術研究助成基金利息収入	0	0	0	
基本財産運用収入計	0	0	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
雑収入計	10,000	10,000	0	
事業活動収入計	97,020,000	97,430,000	△ 410,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
学術集会事業支出	5,000,000	5,000,000	0	
会場費支出	0	0	0	
運営費支出	0	0	0	
印刷・通信費支出	2,500,000	2,150,000	350,000	
会議費等支出	500,000	250,000	250,000	
事務局経費支出	2,000,000	2,600,000	△ 600,000	
抄録集作成費支出	600,000	600,000	0	
会誌発行費支出	4,000,000	3,800,000	200,000	
リハニュース発行費支出	700,000	700,000	0	
各種委員会旅費・会場費支出	3,500,000	3,000,000	500,000	
各種委員会経費支出	500,000	700,000	△ 200,000	
専門医等認定事業費支出	500,000	700,000	△ 200,000	
実習研修事業支出	0	0	0	
研修会事業支出	0	0	0	
海外研修助成金支出	750,000	750,000	0	
国際会議出席旅費補助金支出	250,000	0	250,000	

④ IT化の推進により、広報活動の充実を図る。

7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。

8. 学会組織の整備と充実

- ① 評議員選挙を実施する。
- ② 公益法人制度に関する情報収集と対応の検討を行う。
- ③ 地方会事務局機能を強化する。
- ④ 会員ネットワークシステムを整備する。

【事業計画】

1. 学術集会の開催

- 1) 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成21年6月4日、5日、6日の3日間、静岡市 グランシップに於いて開催する。
- 2) 地方会学術集会の開催
各地方会に於いて学術集会を開催する。
- 3) 第4回専門医会学術集会を、平成21年10月16日、17日、18日の3日間、長野県下諏訪総合文化センターに於いて開催する。

2. 諸会議

- 1) 通常総会 1回

優秀論文表彰金支出	0	0	0	
リハ啓発活動事業費支出	0	0	0	
地方会事務局運営補助金支出	1,000,000	1,000,000	0	
診療が「外」に策定支出	0	500,000	△ 500,000	
専門医会経費支出		450,000	△ 450,000	
事業費支出計	16,800,000	17,200,000	△ 400,000	
② 管理費支出				
給料手当支出	3,500,000	3,800,000	△ 300,000	
福利厚生費支出	700,000	1,000,000	△ 300,000	
総会費支出	1,500,000	1,900,000	△ 400,000	
理事会費支出	1,000,000	1,000,000	0	
旅費交通費支出	100,000	200,000	△ 100,000	
顧問料支出	126,000	126,000	0	
ホームページ維持管理費支出	200,000	280,000	△ 80,000	
通信運搬費支出	800,000	850,000	△ 50,000	
情報関連整備費支出	850,000	200,000	650,000	ホームページ移行費
什器備品費支出	100,000	200,000	△ 100,000	
消耗品費支出	100,000	100,000	0	
印刷製本費支出	300,000	300,000	0	
光熱水料費支出	100,000	110,000	△ 10,000	
賃借料支出	800,000	800,000	0	
租税公課支出	550,000	450,000	100,000	
負担金支出	1,700,000	1,700,000	0	
支払手数料支出	1,000,000	1,000,000	0	
雑支出	100,000	100,000	0	
管理費支出計	13,526,000	14,116,000	△ 590,000	
事業活動支出計	30,326,000	31,316,000	△ 990,000	
事業活動収支差額	66,694,000	66,114,000	580,000	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出計	0	0	0	
② 敷金・保証金支出				
保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
II 予備費支出	500,000	500,000	0	
当期収支差額	67,194,000	65,614,000	1,580,000	

2) 評議員会 1回

3) 理事会

4) 地方会総会：各地方会に於いて総会を開催

5) 倫理委員会：委員会所管事例の検討

6) 専門医会

① 専門医会学術集会の開催

② 専門医および指導責任者の質の向上のための研修

③ リハ医学会のシンクタンクとしての研究・調査

④ 掲示板・メールマガジンを活用した専門医間の交流促進

⑤ 専門医のWGの活動

⑥ 専門医の背景情報調査

⑦ 初期研修医のリクルートに関する各施設間の情報交換

⑧ 市民への啓発活動

⑨ 専門医会総会の開催

7) 地方会連絡協議会

① 各地方会において、地方会ホームページを積極的に活用し、地方会活動の活性化を図る。

8) 各種委員会：編集委員会他 13 委員会等

(1) 編集委員会

① 学術集会での発表内容の向上、卒前・卒後教育の充実、エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく、質の高い学会誌を発行する。

② 学会の広報活動に寄与すべく、各種情報を学会誌に掲載するとともに学会誌の電子化を一層進める。

(2) 評価・用語委員会

① 用語集の整備・特にオンライン事典準備

② 評価法調査の継続

③ 委員会としての広報の充実

④ 他委員会との連携の強化

(3) 教育委員会

① 卒後教育カリキュラムの現状調査と提言

② 初期臨床研修におけるリハビリテーション医学教育の充実

③ リハビリテーション研修カリキュラムの改訂

④ 生涯教育研修会の認定審査と新企画の提言

⑤ 実習研修会の共催と新企画のための調査

⑥ 病態別リハビリテーション研修会（旧一般医家研修会）の再編・開催

▶表 7

平成21年度収支予算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費収入				
正会員会費収入	115,500,000	116,040,000	△ 540,000	
会費収入計	115,500,000	116,040,000	△ 540,000	
② 事業収入				
学術集會事業収入	70,840,000	65,950,000	4,890,000	
参加費収入	34,700,000	36,300,000	△ 1,600,000	
抄録集販売収入	900,000	900,000	0	
展示収入	11,100,000	10,000,000	1,100,000	
広告料収入	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
協賛金等収入	22,300,000	16,410,000	5,890,000	
共同演者申込料収入	840,000	840,000	0	
会誌等発行事業収入	13,300,000	14,380,000	△ 1,080,000	
別刷収入	700,000	530,000	170,000	
広告料収入	4,000,000	4,000,000	0	
会誌販売収入	7,600,000	7,600,000	0	
用語集販売収入	0	950,000	△ 950,000	
著作権料収入	1,000,000	1,300,000	△ 300,000	
専門医等認定事業収入	25,360,000	11,400,000	13,960,000	
審査料収入	5,360,000	6,900,000	△ 1,540,000	
登録料収入	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	
更新料収入	17,000,000	500,000	16,500,000	
実習研修事業収入	0	3,800,000	△ 3,800,000	
研修会事業収入	8,100,000	15,400,000	△ 7,300,000	
専門医会収入	2,340,000	2,000,000	340,000	
事業収入計	119,940,000	112,930,000	7,010,000	
③ 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	300,000	300,000	0	
学術研究助成基金利息収入	300,000	250,000	50,000	
基本財産運用収入計	600,000	550,000	50,000	
④ 雑収入				
受取利息収入	90,000	90,000	0	
雑収入	100,000	100,000	0	
雑収入計	190,000	190,000	0	
事業活動収入計	236,230,000	229,710,000	6,520,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
学術集會事業支出	70,000,000	65,950,000	4,050,000	
会場費支出	7,402,000	24,819,000	△ 17,417,000	
運営費支出	44,409,000	32,625,000	11,784,000	
印刷・通信費支出	6,136,000	3,069,000	3,067,000	
会議費等支出	1,900,000	866,000	1,034,000	
事務局経費支出	10,153,000	4,571,000	5,582,000	
抄録集作成費支出	5,000,000	7,000,000	△ 2,000,000	
会誌発行費支出	36,000,000	35,000,000	1,000,000	
リハニュース発行費支出	5,300,000	4,800,000	500,000	
各種委員会旅費・会場費支出	15,000,000	13,700,000	1,300,000	

- | | |
|---|---|
| <p>⑦ 専門医育成のための教育対策</p> <p>(4) 認定委員会</p> <p>① 専門医の認定及び資格の更新に関すること</p> <p>② 認定臨床医の位置付け，認定及び資格更新に関すること</p> <p>③ 指導責任者の認定及び資格更新に関すること</p> <p>④ 研修施設の認定及び資格更新に関すること</p> <p>⑤ 単位付与項目の認定に関すること</p> <p>⑥ 各種法規に係る事項の検討</p> <p>⑦ その他（専門医口頭試験，試験特別委員教育，研修施設審査・年次調査の Web 化の検討）</p> <p>(5) 試験問題委員会</p> | <p>① 専門医認定，臨床認定医認定のための試験問題作成</p> <p>② 実施した試験問題や予備問題の保存・管理</p> <p>③ 出題の内規の検討</p> <p>④ 良問の回答及び解説の掲載</p> <p>(6) 社会保険等委員会</p> <p>① 医療保険に関する業務</p> <p>② 介護保険に関する業務</p> <p>③ リハビリテーション診療報酬体系を検討する業務</p> <p>④ その他（診療報酬と介護報酬の整合性の検討業務）</p> <p>(7) 障害保健福祉委員会</p> <p>① 障害者自立支援法と障害児・者を取りまく関連制</p> |
|---|---|

各種委員会経費支出	5,700,000	2,250,000	3,450,000	
専門医等認定事業支出	8,600,000	7,300,000	1,300,000	
実習研修事業支出	1,500,000	3,800,000	△ 2,300,000	
研修会事業支出	8,000,000	15,400,000	△ 7,400,000	
DVD作製費支出	12,000,000	0	12,000,000	新規事業
海外研修助成金支出	2,900,000	3,000,000	△ 100,000	
国際会議出席旅費補助金支出	250,000	500,000	△ 250,000	
優秀論文表彰金支出	400,000	400,000	0	
リハ啓発活動事業支出	3,000,000	3,000,000	0	
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0	
診療ガイドライン策定支出	1,500,000	1,500,000	0	
専門医会経費支出	2,900,000	3,900,000	△ 1,000,000	
事業費支出計	186,010,000	175,460,000	10,550,000	
② 管理費支出				
給料手当支出	30,500,000	34,000,000	△ 3,500,000	
福利厚生費支出	4,000,000	4,300,000	△ 300,000	
総会費支出	2,000,000	2,000,000	0	
理事会費支出	9,000,000	6,000,000	3,000,000	評・選挙経費含む
旅費交通費支出	500,000	600,000	△ 100,000	
顧問料支出	2,790,000	880,000	1,910,000	会計事務委託費含む
ホームページ維持管理費支出	2,400,000	1,700,000	700,000	
通信運搬費支出	3,200,000	1,700,000	1,500,000	評・選挙経費含む
情報関連整備費支出	2,200,000	4,470,000	△ 2,270,000	
什器備品費支出	1,300,000	300,000	1,000,000	事務局備品整備
消耗品費支出	500,000	400,000	100,000	
印刷製本費支出	1,500,000	1,100,000	400,000	評・選挙経費含む
光熱水料費支出	660,000	630,000	30,000	
賃借料支出	5,270,000	5,200,000	70,000	
租税公課支出	1,400,000	400,000	1,000,000	
負担金支出	2,700,000	2,900,000	△ 200,000	
支払手数料支出	1,700,000	1,750,000	△ 50,000	
雑支出	700,000	600,000	100,000	
管理費支出計	72,320,000	68,930,000	3,390,000	
事業活動支出計	258,330,000	244,390,000	13,940,000	
事業活動収支差額	△ 22,100,000	△ 14,680,000	△ 7,420,000	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
学術研究助成基金取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000	
投資活動収入計	0	10,000,000	△ 10,000,000	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
特定資産取得支出計	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
投資活動支出計	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
投資活動収支差額	△ 1,000,000	8,900,000	△ 9,900,000	
III 予備費支出				
	500,000	500,000	0	
当期収支差額	△ 23,600,000	△ 6,280,000	△ 17,320,000	
前期繰越収支差額	39,715,325	29,020,216	10,695,109	
次期繰越収支差額	16,115,325	22,740,216	△ 6,624,891	

度等の検討

- ② 社会参加推進のための障害者スポーツの検討
- ③ 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション医の役割についての検討
- (8) 関連機器委員会
 - ① 福祉用具の選定に関する実態調査の実施
 - ② 福祉用具の選定に関する実態調査結果の分析報告
 - ③ 福祉用具についての広報活動
 - ④ 運動療法機器，作業療法機器についての広報活動
- (9) 関連専門職委員会
 - ① 関連職種に関する調査分析と分析後の計画立案
 - ② 臨床心理関連職種に関する調査報告

③ PT・OT 長期教員養成研修会の運営協力

- (10) 会則検討委員会
 - ① 規則，内規，申し合わせ等の諸会則の検討を行う。
 - ② その他
- (11) 広報委員会
 - ① 広報ニュースの発行
 - ② ホームページの改編・管理
 - ③ 会員 Web システムの有効活用，IT 化の推進
 - ④ リハ医育成 AP の実践
 - ⑤ リハ医学の普及・発展へ向けた啓発
- (12) 国際委員会
 - ① 平成 21 年度日本リハ医学会員海外研修助成プログラムの実施

②平成 21 年度外国人リハ医師対象の短期交流助成プログラムの実施

③ Honorary/Corresponding Member の拡充，活動内容の見直し

④日韓合同カンファレンスの検討

⑤英文ホームページの充実

⑥英文 annual report の作成と H/C Member への送付

⑦英文文書作成における翻訳作業の依頼

(13) 診療ガイドライン委員会

①ガイドラインコア委員会：活動計画調整

②脳卒中治療ガイドライン策定委員会：2 版完成，3 版作成への助走

③脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会：出版，2 版作成への助走

④安全管理・推進のためのガイドライン策定委員会：オンライン会議想定

⑤呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：必要に応じて立ち上げ

⑥リハビリテーション連携パス策定委員会：脳卒中連携パスを提言

⑦臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員会：データマネジメント WG との整合性，ガイドラインに準拠した演題リストの集計・検討

⑧新ガイドライン策定委員会：RA リハビリテーションガイドライン策定委員会の立ち上げ

(14) システム委員会

①リハ医学会システム化第 1 段の運用確認，改良

②リハ医学会システム化第 2 段の検討

(15) ワーキンググループ

①評議員選挙実施に対する検討

②リハ医育成アクションプラン策定 WG

③データマネジメント WG

④公益法人制度に伴う WG

3. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年 13 回（第 46 巻第 4 号～第 12 号，特別号，第 47 巻第 1 号～第 3 号），1 回 9,400 部を発行する。

4. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」（リハニュース）を年 4 回（季刊）発行する。

5. ホームページの管理運営

会員用 Web システムの有効活用に合わせ IT 化を推進する。また，管理委託業者の変更及び掲載内容の更

新，追加などを実施する。

6. 教育及び研修

1) 実習研修会

脊損・尿路管理研修会，義手・義足適合判定アドバンスコース，小児のリハビリテーション研修会，臨床筋電図・電気診断学入門講習会，福祉・地域リハビリテーション研修会，実習研修「動作解析・運動学実習」を開催する。

2) 学術集会研修会

平成 21 年 6 月 4 日，5 日，6 日の 3 日間，静岡市 グランシップに於いて開催する。

3) 専門医会学術集会研修会

平成 21 年 10 月 16 日，17 日，18 日の 3 日間，長野県下諏訪総合文化センターに於いて開催する。

4) 病態別リハビリテーション研修会

平成 21 年度から一般医家に役立つリハビリテーション研修会を改廃し，病態別リハビリテーション研修会を開催する。

5) 生涯教育研修会

静岡市グランシップ並びに全国 8 ブロックにおいて，生涯教育研修会を開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する。

7. 専門医の認定

専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

8. 認定臨床医の認定

認定臨床医の審査認定を行う。

9. 指導責任者の認定

申請に基づき指導責任者の認定審査を行う。

10. 研修施設の認定

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

11. 専門医の資格更新

専門医の資格更新審査を行う。

12. 認定臨床医の資格更新

認定臨床医の資格更新審査を行う。

13. リハ医学啓発活動事業

各地方都市で市民公開講座等を開催し，広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

14. 学術研究助成

1) 優秀論文への助成

2) 若手研究者への海外研修助成

3) 外国人リハ医への交流研修助成

15. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM を活性化し、AOSPRM の活動に参加する。
- 2) アジア地域での広報活動を行う。

16. その他

- 1) リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

IV. 第 49 回（平成 24 年開催）学術集会会長の指名

里宇理事長から、第 49 回学術集会会長候補者として、理事会及び評議員会において、蜂須賀研二会員（産業医科大学リハビリテーション医学）が推薦された旨報告があり、満場一致で承認された。

V. 会費を 2 年以上滞納した者の扱い

庶務担当の吉永常任理事から、会費を 2 年以上滞納した者について、学術集会期間中、事務局窓口で氏名を公開し、その後、申し出がない者については、定款 10 条の規定に基づき除名とする旨の説明があり、承認された。

VI. その他

① 評議員選挙規定の一部改定について

庶務担当の吉永常任理事から、評議員選挙に関する規則・同内規の一部改定案について説明があり、原案どおり承認された。また今後の評議員選挙に向けての予定について説明があった。

② Corresponding Member について

国際委員会担当の赤居常任理事から、Corresponding Member 候補者として Dr. Jeffrey R. Basford 氏（米国）を推薦する旨の説明があり、承認された。

③ 優秀論文賞の表彰

日本リハビリテーション医学会論文選考内規に基づき、優秀な論文に対して賞状並びに賞金目録の贈呈が行われた。

○最優秀論文賞

丸石正治，近藤啓太，上野弘貴

「高次脳機能障害者の重症度と就労率」

○優秀論文賞

笛吹 亘，園田 茂，鈴木 亨，岡本さやか，東口高志，才藤栄一

「脳卒中回復期リハビリテーションへの栄養サポートチーム

介入—Functional Independence Measure を用いた効果検証—」

○奨励論文賞

百崎 良，菅原英和，佐々木信幸，安保雅博，木村知行

「リハビリテーション医学会研修施設における胃瘻カテーテル交換に対する実態調査」

④ 海外研修助成証書の贈呈

里宇理事長から、平成 21 年度海外研修助成について、三原雅史，室谷嘉一，大沢愛子，山田深の四氏に、助成証書並びに助成金の目録が贈呈された。

以上

第 1 回評議員会 議事録

日 時：平成 21 年 6 月 3 日（木） 16 時 00 分～ 18 時 00 分

場 所：グランシップ（静岡） 11F 風
静岡市駿河区池田 79-4

出席者：会場出席者 161 名（欠席者 37 名）

議長の選任

定款第 28 条に基づき、出席正会員のうちから佐伯覚正会員が議長に選任された。また、副議長には花山耕三正会員が選任された。

定足数の確認

議長は出席評議員が定足数（評議員現在の過半数 99 名以上）に達していることを確認した後、開会を

宣した。

議事録署名人の選任について

議長の指名により議事録署名人に、猪飼哲夫評議員及び芳賀信彦評議員が選任された。

議 題

■ 報告事項

I. 理事長報告

里宇理事長から、平成 20 年度から開始した 7 つのアクションプラン等の活動について、総括して報告が行われた。また、20 年度医師以外入会認定者について報告があった。

II. 平成 20 年度各種委員会報告

里宇理事長から、平成 20 年度の各種委員会の活動状況について、報告が行われた。

(以上 I, II は通常総会議事録参照)

■ 審議事項

I. 平成 20 年度事業報告及び収支決算

平成 20 年度事業報告について、庶務担当の吉永常任理事から説明が行われ、承認された。

平成 20 年度収支決算について、財務担当の上月常任理事から、説明が行われ、引き続き江藤監事から、平成 20 年度の業務執行及び財産の状況に係る監査を実施した結果、適正に処理されていると認める旨報告が行われ、原案どおり承認された。

II. 平成 21 年度収支暫定予算

平成 21 年度収支暫定予算案について、財務担当の上月常任理事から、説明が行われ、原案どおり承認された。

III. 平成 21 年度事業計画案及び収支予算

平成 21 年度事業について、はじめに事業方針について里宇理事長から、引き続き事業計画案について庶務担当の吉永常任理事から説明が行われ、承認された。

平成 21 年度収支予算案について、財務担当の上月常任理事から、説明が行われ、原案どおり承認された。

(以上 I ~ III は通常総会議事録参照)

IV. 第 49 回 (平成 24 年開催) 学術集会会長の指名

里宇理事長から、第 49 回学術集会会長候補者とし

て、理事会において、蜂須賀研二会員 (産業医科大学リハビリテーション医学) が推薦された旨報告があり、満場一致で承認された。

V. 会費を 2 年以上滞納した者の扱い

庶務担当の吉永常任理事から、会費を 2 年以上滞納した者について、学術集会期間中、事務局窓口で氏名を公開し、その後、申し出がない者については、定款 10 条の規定に基づき除名とする旨の説明があり、承認された。

VI. その他

① 評議員選挙規定の一部改定について

庶務担当の吉永常任理事から、評議員選挙に関する規則・同内規の一部改定案について説明があり、原案どおり承認された。また今後の評議員選挙に向けての予定について説明があった。

② Corresponding Member について

国際委員会担当の赤居常任理事から、Corresponding Member 候補者として Dr. Jeffrey R. Basford 氏 (米国) を推薦する旨の説明があり、承認された。また、海外医師助成事業に関して、協力病院を募るアンケート調査について説明があった。

以上

「訂正と謝罪」

平成 20 年度の評議員会及び総会において、物故会員としてご紹介した林玉子先生につきまして、その後、当方の記載ミスであることが判明いたしました。林玉子先生をはじめ、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。